



株式会社 AGRI PRIME



1 現在の活動状況等

(1) 経営理念等

- 安全で美味しい豚肉の安定供給とお客様に安心して食べていただくことで社会に貢献します。
- 農場HACCP認証基準に基づいた衛生管理システムを構築し、法令、条例、規則を遵守することで生産する豚肉の安全性を確保することに努めます。
- 食品の安全性確保のため、各種研修会への参加や外部・内部コミュニケーション活動を行い、食品安全に関する知識向上に努めます。
- 従業員全員が衛生管理方針、及び衛生管理目標を周知し、実施し、見直し、改善を行います。

(2) 生産技術の特徴

- 自社生産飼料米(令和3年度作付面積28ha)を県内の養豚経営グループ飼料工場で配合飼料化し、給与。豚糞は堆肥化し、ほ場の地力を増進する資源循環農場を実現している。
- 養豚経営グループによる血統、飼料、飼養方式を統一した生産を行っている。
- 農場HACCP認証(H30.4.27)

(3) 販売面の特徴

- 養豚経営グループの血統、飼料、飼養方式を統一することで、ブランドを構築している。

(4) 経営組織の特徴

- 正規職員(4名:20代~40代)とパート職員(1名:40代)があり、成長してさらに力を発揮することを期待。
- 農場HACCPによる社内ルールとPDCAサイクル管理が、衛生管理とともに経営の人的資源管理に大きな効果があったと認識している。

(5) 労務管理の特徴

- 農場HACCPによる社員の業務目標管理を実施しており、社員からも目標が明確となり、やりがいが高まるとの意見をj得て定着している。
- 養豚部門・水田部門とも飼養、生育状況や作業進捗について社内の情報共有に努めている。

(6) 経営管理の特徴

- 農場HACCP認証を人的資源管理等へ積極的に活用している。
- 生産管理水準の平準化、作業効率化へ向けICT技術を積極的に導入している。
- 養豚部門:「デジタル目録」による出荷管理
出荷時の実体重計測は必須であるが、画像で体重を高精度推定可能。出荷群の管理作業効率化に効果大。
- 水田部門:「水位センサー」
ほ場水位を常にスマートフォンで把握。比較的安価に水管理作業を効率化。
- 部門共通:「クラウド型生産管理システム」
飼養・生育状況や作業進捗を社内で共有し、生産管理を高度化、効率化。

(7) その他、特筆すべき事項

- 地域社会等との連携
地元である田尻大貫地域において、農業の担い手育成、資源循環を重視している。
- 環境への配慮(農場HACCP認証等)
豚舎内は毎日、除糞、洗浄を行い、清潔な環境での飼育管理を実施。排出された糞尿は、堆肥化等適正な管理を行い、処理水は定期的な排水水質検査を実施。
- 情報の発信、収集(ネットワーク活動を含む)
外部との連絡は、関係先と迅速かつ的確にコミュニケーションがとれるようリスト化している。内部の情報伝達は、朝礼・掲示板・個人への口頭伝達・会議等で周知している。

経営のプロフィール

経営概要

養豚 母豚240頭 年出荷4,000頭
 水稻29ha(うち飼料米28ha), 牧草4ha
 稲わら集荷販売45ha

主な施設・機械の保有

肥育舎2棟953㎡ 子豚舎1棟453㎡
 種豚舎1棟375㎡ 分娩舎1棟407㎡
 堆肥舎1棟600㎡ 尿処理槽1基300㎡
 作業場3棟513㎡ 米倉庫1棟195㎡
 トラクター3台 83~120ps
 2tトラック2台 軽トラ3台

構成員等

構成員:役員(取締役等)3名
 従業員:(常時雇用)4名 (臨時雇用)1名

法人設立年月日

平成22年7月29日

認定農業者認定年月日

令和3年11月10日

資本金

500万円

販売額等

1億5千万円(令和2年度)
 収入算入交付金等:4千万円(経営所得安定対策等)

役員名

代表取締役:三神 良太
 取締役:三神 美和, 三神 利恵

補助事業・制度資金活用実績

畜産競争力強化整備事業(平成27年度)

2 法人設立までの変遷(取り組み経過等)

(1) 法人設立までの動機、きっかけ

- 父からの経営継承を考えるタイミングで、具体的な法人化の検討を開始した。

(2) 法人化に至る経過等

- 県担い手育成総合支援協議会より専門家派遣の支援を受け、法人化について検討を重ねた。
- 当時の売上規模は、法人化による直接的な経済メリットは生じない段階であったが、経営継承と規模拡大に向けた正規職員雇用体制を作るため、法人設立を決断した。

(3) 法人化後の評価(良かった点等)

- 人材の確保としては、法人化による就業体制の整備が、優秀な若い人材の確保に結びついた。また、対外信用の拡大や銀行の融資判断等に有効であった。

3 今後、将来に向けてのビジョン等(現時点)

(1) 将来ビジョンと経営戦略等

- 経営をより良くし高められるのは人の力によることであり、社員がともに成長できる経営、そして経営者としても育つことができる経営を目指す。
- 自社のみならず、大貫地区、田尻地域の資源循環型農業の実現と定着、豊かな地域農業、ふるさとの振興と地域の皆と協力して目指す。

(2) 達成へ向けた課題及び取り組み状況

- 着実な取組が進められている。
- 地域農業への波及効果が期待できる。

(調査 美里農業改良普及センター)

略図



株式会社AGRI PRIME

〒989-4302 大崎市田尻大貫字杉山25番地
 TEL 0229-39-7580 FAX 0229-87-3975
 Eメール mikami@agri-prime.co.jp
 URL <http://www.agri-prime.co.jp/>

視察受入条件

農場への御来場は現在想定しておりません。
 農業法人協会の活動等を通じて研鑽・交流に努めたいと考えております。